



令和7年度自衛官候補生入隊式

美幌に自衛官候補生27名が入隊

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は、4月6日、美幌駐屯地体育館において、令和7年度自衛官候補生(以下「自候生」)入隊式を挙行し、自候生教育のスタートを切った。

式典には美幌地方自衛隊協力会会長・美幌町長・平野浩司様をはじめ、北海道議会議員・高橋文明様、同議会議員・舟橋賢二様及び同議会議員・鈴木一磨様その他、

自衛隊協力諸団体など多数の来賓と自候生のご家族が参加し、盛大に挙行された。

志高く入隊した自候生は、自衛官として必要な基礎的教育訓練を約3ヶ月間受け、その後、2等陸士に任命されて各職種部隊に配置されて職種ごとに必要な教育訓練を受けることになる。

式典では、国歌斉唱後の任命において自候生一人ひとりの名前が読み上げられ、各自候生は起立と同時に大きく返事をした。

次に自候生を代表して山田凌大自候生が連隊長に対し、初々しくかつ澁刺とした態度で力強く申告を実施、さらに小峰広大自候生の先導で、全員が決意を胸に宣誓を行い、自衛官への第一歩を踏み出した。

連隊長は式辞において「同期とともに成長せよ」の1点を要望し、

「これから始まる教育は自衛官になるための初めての教育となります。これからの訓練や規律は、諸官の今までの生活にはなかった、初めてとなるものがほとんどでしょう。ただ、それは諸官の横にいる仲間、今日から本教育における同期は、一生、同期です。これから寝食をともにし、互いを理解し、切磋琢磨し、ときには助け合いなが

ら、任務を確実に遂行できる自衛官を、同期とともに目指してもらいたいと思います。立派な自衛官となった姿をご家族に見せることを強く期待します。」と述べた。

来賓祝辞では、美幌地方自衛隊協力会会長は、自候生へ激励の言葉を送るとともに、今後の活躍を祈念した。

入隊した自候生は、これから同期との絆を深め、3カ月後には立派な自衛官として国民の負託に応えようという日々訓練となつて、教育に臨んでいく。

第2代最先任上級曹長着任挨拶

「部隊・職種の壁を排除し共に戦える隊員の育成」を目指す



▲第2代最先任上級曹長 松本浩紀准陸尉

令和7年3月17日付をもって、第2代第6即応機動連隊最先任上級曹長兼美幌駐屯地最先任上級曹長を拝命した第6即応機動連隊本部、松本浩紀准陸尉です。

私は、最先任上級曹長として准曹士に係る隊務全般に関し、指揮官を補佐し、准曹士の育成を図ります。

そのため、部隊准曹士

をもち、第2代第6即応機動連隊最先任上級曹長兼美幌駐屯地最先任上級曹長を拝命した第6即応機動連隊本部、松本浩紀准陸尉です。

私は、最先任上級曹長として准曹士に係る隊務全般に関し、指揮官を補佐し、准曹士の育成を図ります。

そのため、部隊准曹士

の上立つことなく前に出ることを意識した「現場進出による親身な状況把握」で指揮官の状況判断に資する情報の提供、意見具申及び指揮官企図の徹底を図るとともに、駐屯地及び部隊の伝統継承、隊員の服務指導、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を指導矯正する等、最先任上級曹長としてのあるべき姿を追求

最先任上級曹長交代式

責務と熱い想いが引き継がれ 新たな時代が始まる

3月14日、美幌駐屯地体育館において最先任上級曹長交代式を実施し、第6即応機動連隊初代最先任上級曹長の湯浅正明准陸尉から第2代第6即応機動連隊最先任上級曹長の松本浩紀准陸尉へ責務と熱い想いが引き継がれた。

連隊准曹士全隊員を前に離任最先任上級曹長の湯浅准陸尉から「まず

このから駐屯地各部隊先任上級曹長等との情報共有を図り、駐屯地と地域の輪を大切にしていける存です。

更なる愛される駐屯地を目指し努力していきますので、皆様の御理解と御指導、御協力をよろしくお願いいたします。



▲徽章継承



▲小峰広大自候生の先導で、全員が決意を胸に宣誓



▲国歌斉唱



▲緊張感が漂う自候生



▲執行者式辞



▲任命で大きく返事をする自候生



▲音楽隊による激励演奏



▲同期とともに記念撮影

転入部隊長紹介



▲第34代美幌駐屯地業務隊長 生稲 学2等陸佐

☆美幌駐屯地業務隊長 生稲 学 (いくいね まなぶ) 北海道の美しい自然と四季折々の季節を感じられる、ここ美幌町、美幌

駐屯地において勤務できる事を非常にうれしく思うと同時に、歴代業務隊長が築き上げた輝かしい伝統を継承するにあたり、あらためて業務隊長

としての重責を感じている所です。

我が国を取り巻く安全保障環境は非常に厳しく、今まさに直面している危機感を業務隊長として認識し、主要部隊である第6即応機動連隊が速やかに行動でき、今勝てる、将来にわたって勝てる兵站基盤態勢を確立していく事が重要な役割であると考えています。

併せて駐屯地の生活・勤務環境の改善・向上に努め、駐屯部隊及び隊員が健全で明るく過ごせる環境づくりに取り組むとともに、地域の皆様とも交流を深め愛される駐屯



地づくりに寄与していく所です。

7年ぶりの北海道勤務が充実し実りあるよう職務に邁進してまいりますので、駐屯地司令をはじめ駐屯地各部隊長並びに地域の皆様方からのご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

防衛省共済組合 特定健診のご案内

40～74歳以下の駐屯地隊員の奥様等(被扶養者)を対象に、特定健診を、契約する病院等で無料で実施しております。

防衛省共済組合美幌支部 ☎ 0152-73-2114



転入中隊長紹介



☆本部管理中隊長
1等陸尉 関 勝伸
(せき・かつのぶ)

歴史と伝統ある第6普通科連隊が、新たな任務により改編された第6即応機動連隊本部管理中隊長として服務するにあたり、その責任の重さに身が引き締まるとともに、大変光栄なことと感じています。

地域の皆様と隊員ご家族皆様のご理解とご支援のもと、統率方針「即応機動」及び要望事項「家族と仲間を大切に」の想いをもって、平素から中隊長員と苦楽を共にし、隊員家族と中隊という家族を大切に、あらゆる任務に即応必達いたしました。

【略歴】
平成8年3月第9特科連隊(岩手)入隊、平成8年9月第5普通科連隊(青森)、平成25年3月3等陸尉任官、平成26年3月第31普通科連隊(武山)、令和3年3月第5普通科連隊(青森)、令和5年12月第5旅団司令部(帯広)令和7年3月第6即応機動連隊(美幌)



☆第2普通科中隊長
1等陸尉 柴里 拓也
(しばさき・たくや)

伝統ある本中隊の指揮を執るにあたり、強い責任を感じるとともに、隊員とともに鍛錬し、成長できることを大変光栄に思います。

私たちが自衛隊は地域の皆さまの温かいご支援の



☆火力支援中隊長
1等陸尉 林 和志
(はやし・かずし)

この度、第6即応機動連隊第1普通科中隊に配属になりました。

千葉県出身、3等陸尉、矢澤慎之助です。不安定化、不確実性があがり、目まぐるしく変化する国際社会や問題を多く抱える日本の安全保障環境、頻発する災害など

【略歴】
平成7年4月入隊、平成7年9月第5特科連隊(帯広)、平成16年3月第5特科連隊、平成19年3月第2特科連隊(名寄)、平成23年4月第10特科連隊(豊川)、平成31年3月第5特科連隊(帯広)、令和4年8月訓練評価支援隊(北千歳)

道東の美幌駐屯地、勤務というところでスキーや積雪寒冷地での行動なことを積極的に挑戦し、

3月15日付で幹部任官!! 「美幌での任官にあたって」



自分自身の成長に繋がったと思います。

部隊勤務においては、まだ勤務歴が浅いので、陸曹・陸士と積極的にコミュニケーションをと

り、現場に行き、実際の訓練、作業の時間間隔などの尺度を覚え、実際に働く方々の気持ちがわかる幹部自衛官として勤務出来る様になりたいです。

また、隊員の命を守るように、各種戦術行動などの知識、各個戦術射撃を初めとする射撃技能や戦技、部下を引っ張っていく体力、公私ともに頼れる存在になるためにコミュニケーション能力を幹部初級課程(BOC)の9ヶ月間で養い、

部隊に戻ってから継続的に知識・技能を磨きたいと考えています。

少しでも早く部隊と国防に貢献できるよう、日々前進し、粉砕砕身頑張っていく所存でありますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

北辰新聞編集局より

平素から北辰新聞をご愛読頂き、誠に有難うございます。編集局では、協力諸団体等や駐屯各部隊の訓練、行事、イベント等を記事にて積極的にPRしていきたいと考えておりますので、情報提供をお待ちしております。

お待ちしております



お問い合わせ先
美幌駐屯地広報班
TEL (0152) 73-2114



この度、第6即応機動連隊第2普通科中隊に配属されました、3等陸尉三上宗沢です。

長い歴史と伝統を有し、道東の守りという重



要な役割を担う美幌駐屯地で勤務できますことを光栄に思うとともに、この地で幹部として任官することの重責を感じて身が引き締まる思いです。

私は京都府出身ですが大学生活を札幌にて過ごし、おそらく北海道を訪れることはしばらくないだろうと考えながら大学を卒業しました。

しかし、去る1月23日、縁あってこの北の大地に再び足を踏み入れる運びとなりました。道東で生活するのは初めてということもあり、札幌よりも厳しい寒さを誇る美幌の町で新しい環境にもまれ、一人の人間として、また自衛官としてもより強く大きくなればと思っています。

北方の積雪地帯である美幌ではスキー技術等の技能や知識の取得が必要であり、また当部隊は即応機動連隊であるため、通常の普通科連隊とは異なる装備や部隊運用など覚えるべきことが大変多い環境です。

私は一般大卒で現在は経験も何もかもが不足していますが、中津連隊長の要望事項である「日々前進」を実践し、中隊の方々と汗を流しながら少しでも多くのことを学び、一日でも早く部隊の力となるよう研鑽を積んでいく所存です。

まだまだ至らぬ点ばかりですが、今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一糸乱れぬ息の合った乗員連携！ 16式機動戦闘車ベストクルー競技会

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊機動戦闘車中隊(中隊長・宮本義章3佐)は、3月4日、美幌駐屯地及び同訓練場において、令和6年度MCVベストクルー競技会を実施した。

本競技会は、中隊内の16式機動戦闘車(MCV)の最優秀乗員チーム(車長、砲手、操縦手及び装填手)を選考するもので、乗員間の連携要領について練度を向上するとともに、士気の高揚・団結の強化を図る目的で実施した。

競技は狭窄弾(飛距離が短い訓練弾)による戦闘射撃で実施し、参加した14チームが射撃の命中数、要した時間、残弾数等を競い合った。

競技会当日、車長の的確な号令、砲手の迅速な初弾の発射及び次弾の修正、操縦手の迅速な発進・停止、装填手の確実な装填動作が組み合わさり、各チームのMCVは生き物のように滑らかに前進、射撃、後退を実施した。

激戦の結果、ベストクルーとして山本和則2曹(車長)、佐々木拓哉3曹(砲手)、星唯人3曹(操縦手)、高橋優磨士長(装填手)の4名の隊員が表彰され、ベストクルーの称号となる特製ワッペンを中隊長が授与した。

機動戦闘車中隊はこの成果を糧として新年度に向けて更なる乗員相互の連携強化を図るとともに、任務を完遂し得る中隊を目標に訓練を重ねていく。



▲白熱した戦い

連携強化を図るとともに、任務を完遂し得る中隊を目標に訓練を重ねていく。



▼1秒でも早く命中

以前より第5旅団ホームページにて第6即応機動連隊の訓練・活動についてお知らせしてきましたが、この度ついに美幌駐屯地もホームページ開設しました!!

第6即応機動連隊を含む所在部隊の最新のニュースをぜひチェックしてみてください!!

美幌駐屯地広報班 朝雲新聞社から5年連続 「優秀掲載賞」を受賞



▲1等陸曹 藤本 博 ▲3等陸曹 佐竹純弥

美幌駐屯地広報班は、令和6年1月から12月の1年間で、朝雲新聞に投稿記事が多く掲載された部隊として、朝雲新聞社から令和6年「優秀掲載賞」を受賞した。同広報班は昨年の最優秀掲載賞を含め、5年連続の受賞となった。



フレッシュアップ

津別町役場

総務課 庶務係

みずの ゆうか 野 悠 歌 さん

氏名	性格
職業	好きな料理
星座・血液型	別 紙
出身地	自衛隊で見てみたい物
趣味	何か一言



美幌駐屯地ホームページ検索

美幌駐屯地

最新情報をお届け! 美幌駐屯地HP開設

令和6年度後期 転出入者 紹介

転出者

☆第6即応機動連隊

【本部】

▽鹿追駐業・鹿追

▽1等陸尉 阿部 一光

▽北方後支・東千歳

▽2等陸尉 川井 康平

▽中央病院・三宿

准陸尉 湯浅 正明

▽美幌駐業・美幌

陸曹長 横溝 辰也

【本部管理中隊】

▽5旅司・帯広

▽1等陸尉 北守 啓一

▽7高特・静内

▽1等陸尉 高橋 遼

▽52普通・帯広

▽2等陸曹 浅野 忠将

▽幹候校・前川原

▽2等陸曹 篠塚 基行

▽1曹教・東千歳

▽2等陸曹 甲谷 紘未

▽北方情報・標津

▽2等陸曹 古渡 健太

▽3即機連・名寄

▽3等陸曹 中澤 史織

▽5旅司付・帯広

▽3等陸曹 遠藤 凌

【第1普通科中隊】

▽俱知安駐業・俱知安

▽2等陸曹 中川 雅仁

【第2普通科中隊】

▽1師司・練馬

▽1等陸尉 木村 一志

▽43普通・都城

陸曹長 山本 洋輔

▽19普通・福岡

▽1等陸曹 板谷 勝之

▽美幌駐業・美幌

▽1等陸曹 長尾 直也

【第3普通科中隊】

▽冬戦教・真駒内

▽1等陸曹 神戸 一宏

▽対馬警備・対馬

▽2等陸曹 阿比留裕也

▽5旅司付・帯広

▽2等陸曹 西沢 大輔

▽51普通・那覇

▽3等陸曹 小林 知矢

▽301警・札幌

▽3等陸曹 山田 大悟

【火力支援中隊】

▽富士学校・富士

▽3等陸佐 田中 寛人

▽2特団・湯布院

▽3等陸尉 松山 唯志

▽11特・真駒内

▽2等陸曹 山本 昇平

▽2特団・湯布院

▽2等陸曹 福寝 将宜

▽同

▽3等陸曹 佐々木大輔

▽同

▽3等陸曹 宮崎 貴士

▽4地ミ連・八戸

▽3等陸曹 長峰 毅

▽西特連・久留米

▽3等陸曹 仙名 健人

☆美幌駐屯地業務隊

▽北方処・島松

▽2等陸佐 圓山 紀子

▽旭川地本・上富良野

▽2等陸尉 長島 拓志

▽5音・帯広

▽1等陸曹 村上 博史

▽東北方衛生・仙台

▽2等陸曹 佐藤 政希

☆即応機動直接支援中隊

▽美幌駐業・美幌

陸曹長 藤代 知和

▽別海駐業・別海

▽1等陸曹 鷹嘴 幸夫

▽サイバー隊・市ヶ谷

▽2等陸曹 山下 礼

▽2後支・旭川

▽3等陸曹 小杉 智祐

☆第375会計隊

▽北方会計・札幌

▽2等陸曹 川本 真也

▽325会・丘珠

▽3等陸曹 星 佑斗

☆北見地域事務所

▽海田市駐業・海田

▽2等陸尉 藤澤 永策

転入者

☆第6即応機動連隊

【本部】

▽2等陸尉 館川 圭介

(7後支・東千歳)

【本部管理中隊】

▽1等陸尉 関 勝伸

(5旅司・帯広)

▽2等陸尉 中水 尚史

(高射教導隊・下志津)

▽3等陸尉 三嶋 捺矢

(5施設・帯広)

▽2等陸曹 紙中 貴宏

(5旅司付・帯広)

▽3等陸曹 兼坂 翔人

(1普通・練馬)

▽3等陸曹 野間 純平

(仙台病院付・仙台)

▽3等陸曹 阿部 義史

(同)

▽3等陸曹 吉田 岬

(札幌病院付・真駒内)

【第1普通科中隊】

▽1等陸曹 吉澤 洋之

(13普通・松本)

▽2等陸曹 三谷 儀隆

(宮古警備・宮古島)

【第2普通科中隊】

▽1等陸尉 柴里 拓也

(富士学校付・富士)

▽1等陸曹 吉田 亘

(中即連・宇都宮)

▽2等陸曹 古川 幸司

(22即機連・多賀城)

▽3等陸曹 中本 翔仁

(信太山駐業・信太山)

▽3等陸曹 伊藤誠志朗

(30普通・新発田)

▽3等陸曹 大内 翼

(44普通・福島)

【第3普通科中隊】

▽3等陸曹 渡部 昭人

(対馬警備・対馬)

▽3等陸曹 森田 祐司

(32普通・大宮)

【火力支援中隊】

▽1等陸尉 林 和志

(評価支援隊・北千歳)

▽1等陸曹 平野 清貴

(帯広地本・帯広)

▽2等陸曹 松村 康平

(22即機連・多賀城)

☆美幌駐屯地業務隊

▽2等陸佐 生稲 学

(4地ミ連・八戸)

▽2等陸尉 鈴木 隆

(4普通・帯広)

▽2等陸尉 安山 勉

(帯広地本・釧路)

▽陸曹長 渡邊 伸也

(5旅司付・帯広)

▽陸曹長 飯田 憲一

(5旅司付・帯広)

▽3等陸曹 小松 啓悟

(衛生学校・三宿)

☆即応機動直接支援中隊

▽陸曹長 太田 健一

(5後支・帯広)

▽1等陸曹 伊藤 智一

(俱知安駐業・俱知安)

▽3等陸曹 堀 英樹

(2後支・旭川)

☆北見地域事務所

▽1等陸尉 岡本 学

(海田市駐業・海田)

▽2等陸曹 末松 政博

(120教・真駒内)

